

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年10月30日 (2008.10.30)

【公開番号】特開2007-78527(P2007-78527A)

【公開日】平成19年3月29日 (2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-012

【出願番号】特願2005-267025(P2005-267025)

【国際特許分類】

G 0 1 C 21/00 (2006.01)

G 0 9 B 29/00 (2006.01)

G 0 9 B 29/10 (2006.01)

G 0 8 G 1/137 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 C 21/00 G

G 0 9 B 29/00 A

G 0 9 B 29/10 A

G 0 8 G 1/137

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月11日 (2008.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

起点から終点までの経路探索を行う経路探索手段を備えた経路探索装置において、

前記経路探索手段は、アクセスポイントと車載装置との間の通信状態の統計情報を前記起点および前記終点を含む領域が分割された区画毎にデータベースから取得し、前記区画を通る各道路の評価値を前記統計情報に基づいて算出し、算出した評価値を該道路の長さに加味して前記経路探索を行うことを特徴とする経路探索装置。

【請求項 2】

前記経路探索手段は、各道路に関する道路情報をデータベースから取得し、前記統計情報に加えて前記道路情報に基づいて前記評価値を算出することを特徴とする請求項 1 に記載の経路探索装置。

【請求項 3】

前記経路探索手段は、前記道路情報と前記統計情報とに各重みを与えて前記評価値を算出することを特徴とする請求項 2 に記載の経路探索装置。

【請求項 4】

利用者により受信データのデータ量が入力される入力装置を更に備え、

前記経路探索手段は、前記入力装置に入力された受信データのデータ量に応じて、前記統計情報に与える重みを変動させることを特徴とする請求項 3 に記載の経路探索装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

また、利用者により受信データのデータ量が入力される入力装置を更に備え、前記経路探索手段は、前記入力装置に入力された受信データのデータ量に応じて、前記統計情報に与える重みを変動させるようにしてもよい。